

教育だより

発行：芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

| | | |
|----|----|--|
| 目次 | 1面 | 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について |
| | 2面 | 芦別市いじめ防止基本方針を改定しました |
| | 3面 | ネット利用アンケート結果について、児童生徒のSOSを受け止める相談窓口について(令和5年度) |
| | 4面 | 新体力テスト記録会・芸術鑑賞会について、学習支援ボランティアの一つとして水泳活動見守りが行われました |

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

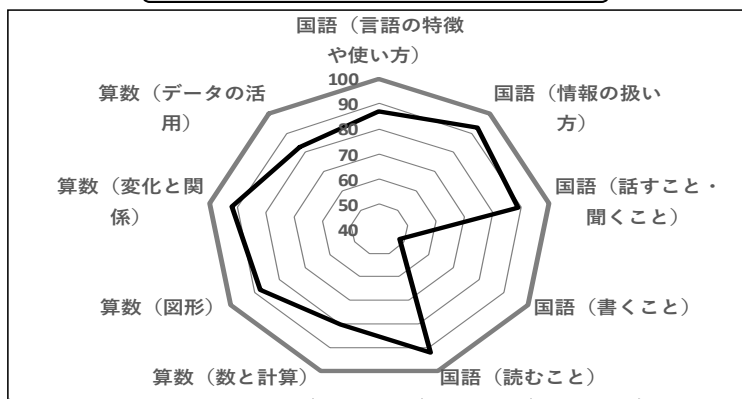
国は全国の児童生徒の学力や学習状況を把握するため、小学6年生と中学3年生を対象に毎年4月に全国学力・学習状況調査を行っています。このたび、その結果が公表されましたので、本市の学力の状況についてお知らせします。なお、児童生徒質問紙による学習状況調査結果は後日、市のホームページでお知らせします。

～芦別市の子どもの学力～

グラフは教科の領域別に全国を100とした場合の芦別市の状況をレーダーチャートで示したものです。(芦別市の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出しています。)

【小学校6年生の教科全体の状況】

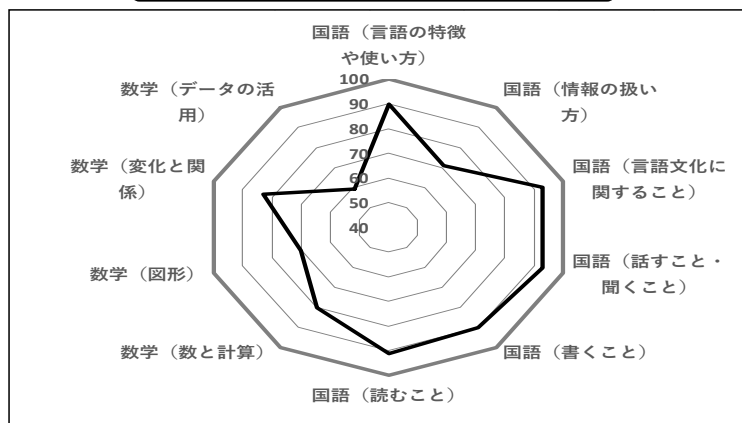
小学校の分析



教科全体の正答率の全国との比較では、全国を100とした場合、国語が88、算数が86でした。教科全体の状況を見ると、各領域で国語・算数ともに低い状況にあります。国語では「書くこと」、算数では「数と計算」「データの活用」に課題があることが分かります。児童質問紙で、「問題を解く時間が足りなかった」と回答する児童が半数近くいたことから、記述式問題に最後まで取り組めなかったことも、正答率が全国を下回った原因と考えられます。

【中学校3年生の教科全体の状況】

中学校の分析



教科全体の正答率の全国との比較では、全国を100とした場合、国語が89、数学が75でした。教科全体の状況を見ると、各領域で国語・数学ともに低い状況にあります。国語では「情報の扱い方」、数学では「図形」「データの活用」に課題があることが分かります。特に、数学については、問題別の集計を見ると、基礎的な問題の正答率が低く、基礎・基本の定着が図られていないことが原因と考えられます。

学力の定着・向上に向けて

学力の定着・向上に向けては、家庭において学校で学んだことを繰り返し学習し、基礎・基本を確実に身に付けることが大切です。各学校では、今年度導入されたデジタルドリルを夏季休業中に活用できるよう子どもたちにタブレットを持ちかえらせました。自分にあったペースで取り組めるのがデジタルドリルの特徴です。

また、学力の定着・向上には、「授業改善」が必要です。今、芦別市が取り組んでいる「芦別スタンダード」(授業スタイルの統一)には、ICTの活用は欠かせません。

教育委員会では、先生方が授業の様々な場面でタブレットを効果的に使えるように、学校ごとに全ての先生を対象に研修会を行っています。



芦別市いじめ防止基本方針を改定しました

本市では、平成25年9月に施行された国の「いじめ防止対策推進法」に基づき、平成27年9月に「芦別市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの『未然防止』、『早期発見』、『早期対応』、『重大事態への対応』の視点から、いじめ防止等のための対策の総合的かつ効果的な推進に取り組んできました。

市の基本方針の内容については、北海道及び北海道教育委員会が策定した「北海道いじめ防止基本方針」を参考としていますが、このたび、北海道において基本方針が見直されたことから、このことを踏まえて、市の基本方針を改定しました。

●主な改定内容

1 いじめの防止等に向けた学校及び教職員の責務

- インターネット上のいじめに対処する体制整備を明記
- いじめの積極的認知を明記
- いじめの加害児童生徒に対する成長支援を明記



いじめは、**しない! させない! 見逃さない!**

2 保護者の責務

- インターネットの利用状況の把握やフィルタリングなど適切な管理を追加

3 いじめの防止等のために芦別市が実施する施策

- 人間関係を構築する能力やコミュニケーション能力の育成を図る取組の推進を追加
- 性暴力防止に向けた「生命（いのち）の安全教育」の推進を追加

4 学校いじめ防止基本方針

- 学校いじめ防止基本方針やいじめに対する取組内容を児童生徒、保護者、地域住民へ確実に周知することを追加
- いじめが犯罪行為に該当するときは、警察へ相談・通報することをあらかじめ保護者に対して説明することを追加
- 犯罪行為の具体例（暴行、恐喝、児童ポルノ提供等）の明記

5 学校におけるいじめの防止等に関する措置

- いじめの未然防止に向けた取組の追加
- いじめが犯罪行為に該当するときは、警察へ相談・通報を行い適切な援助を求め対応することを追加
- 芦別市青少年センター等の関係機関との連携を追加

6 重大事態への対処

学校は、児童生徒や保護者から、いじめにより重大事態に至ったと申立てがあったときは、その時点で「いじめの結果でない」、「重大事態とはいえない」と考えたとしても重大事態が発生したものと対応することを明記

いじめは「どの学校、どの学級、どの児童生徒にも起こり得る」問題であり、いじめに悩む児童生徒を救うため、学校、家庭、地域、その他の関係者との強い連携の中で「いじめを生まない、いじめを決して許さない」という意識を共有し、いじめの防止等に全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

○本市のいじめ対策やいじめ防止基本方針はこちらから

⇒<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/4803.html>



(市公式HP)

ネット利用アンケート結果について

教育委員会では、毎年度、市内の小学5年生から中学3年生までを対象としてネット利用に関するアンケート調査を実施しています。

児童生徒の情報端末の所持率は、小学生で73%、中学生で91%となっており、家族と共有すると答えた人を含めると小学生で97%、中学生で100%になり、ほとんどの児童生徒が家庭においてネットを利用できる環境にあります。

各家庭でのネット環境が整ってきている中、また、コロナ禍で屋外での活動制限などもあって、子どもたちのネット利用やゲーム等に費やす時間が増加傾向にあり、毎日3時間以上ネットを利用している児童生徒が44%います。長時間にわたるネット利用の実態から、家庭での「スマホ・ルール」が必要であると考えます。

では、どのようなことに使っているかという点、小学生では1位ゲーム、2位動画視聴、3位LINEやインスタグラム等のSNS、中学生では1位LINEやインスタグラム等のSNS、2位動画視聴、3位ゲームという順番になっています。

近年は、家庭でのルールづくりが減少傾向にあり、午後10時以降の時間帯における利用が増加傾向にあります。各家庭においては、お子さんと一緒に「スマホ・ルール」について話し合ってみましょう。

●芦別市いじめ問題対策連絡協議会では、芦別市PTA連合会、芦別市校長会、芦別市教育委員会と連携し、児童生徒をネットトラブルなどから守るため、家庭における指導の指針となる芦別市独自の「携帯電話・スマートフォン・ネット利用の基本ルール」の改定に向けて一部見直しを検討中です。保護者の皆様、児童生徒の皆さん、ぜひともこの基本ルールをもとに、親子でよく話し合い、家庭でのルールづくりに取り組まれますようお願いいたします。

○スマートフォン・ネット利用の基本ルールはこちらから👉



⇒<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/4805.html>

(※見直し前の内容です。見直し後の内容については、改めて各小中学校の児童生徒に配布するほか、市のホームページにおいてお知らせする予定です。)



(市公式HP)

児童生徒のSOSを受け止める相談窓口について(令和5年度)

| 名称 | 概要 | 連絡先等 |
|---|---|---|
| 子どもテレホン相談 | 学校のこと、家の中のこと、友だちのことなど、どうしたらよいか、わからなくて困っていることの相談ができます。 対象：児童生徒やその家族 受付：平日9:00～17:00 | 芦別市教育委員会 0124-22-3110 |
| 子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談) | いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性被害、家庭の事情で自分の時間が取れない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。 対象：小学生、中学生、高校生 受付：毎日24時間対応 | 北海道教育委員会 0120-3882-56 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp |
| 親子のための相談LINE | いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待などの様々な家族・家庭の相談ができます。 対象：小学生、中学生、高校生 受付：平日9:00～17:00 | 北海道保健福祉部  |
| ほっかいどうこどもライン相談 | 様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 受付：8/7～9/18毎日17:00～22:00 1/8～1/31毎日17:00～22:00 ※上記以外は毎週月曜日のみ17:00～22:00 | 北海道教育委員会  |

新体カテスト記録会・芸術鑑賞会について

6月8日に芦別市教育振興会が主催し、体力向上を図ることを目的として、小学5・6年生を対象に芦別市陸上競技場で新体カテスト記録会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元年度以来の開催となりました。当日は天候に恵まれ、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ、握力計測の各種目について、子どもたちは一生懸命取り組んだほか、両小学校の児童による交流が図られました。

芸術鑑賞会については、演劇又は音楽等を通じて児童生徒の豊かな情操を養うことを目的として、9月7日は小学生を対象に、10月19日は中学生（1・2年生）を対象として開催されます。

中学生を対象とする芸術鑑賞会は、今年度が初めての開催となり、来年度の中学校統合に向けて、生徒間同士の交流を深める取り組みの一環として、啓成中学校・芦別中学校合同により開催することとしました。演目等については以下のとおりです。

小学生

日時：令和5年9月7日（木）

会場：芦別市民会館 大ホール

演目：山の風から聞いた話（演劇）

中学生

日時：令和5年10月19日（木）

会場：芦別中学校 体育館

演目：ザ・チェンバープラス（音楽）



↑新体カテスト
↓記録会の様子



学習支援ボランティアの一つとして水泳活動見守りが行われました

本市では、学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支える学校運営協議会（コミュニティスクール）の仕組みを活用し、『地域とともにある学校づくり』の取組を進めています。その取組の一環として、学校の教育活動をより活発に、より効果的に行うことをねらいとして『学校支援ボランティア』の皆さんに、小学校では『スキー』、中学校では『柔道』の授業でご協力いただいています。

先日、啓成中学校区学校運営協議会学校支援部会では「学校と地域がともにできること」をテーマに意見交換を行い、上芦別小学校の水泳学習の見守りのお手伝いを実施することとなりました。これを受けて上芦別小学校では、「学校だより」の中で見守りボランティアの募集を開始したところ、さっそく、地域の方が見守りに参加してくれました。子どもたちと一緒にスクールバスに乗り、プールへ移動。水泳学習中は、プールサイドで子どもたちの安全を見守ってくれました。また、水を飲んで休んでいる子の付き添い、困っている子への声かけ、途中でグループが変更になった子を担当の先生へ連れていってくれるなど、様々なことに気を配っていただきました。教員は、プールの中にいることが多いので、プールサイドからの見守りは、学校としてもとても心強いものです。地域の子もたちが、より安全に学習活動を行う環境づくりのためにも、この見守りボランティアの活動が広がっていくことを期待しています。

教育委員会では、「地域とともにある学校づくり」を目指し、随時、「学校支援ボランティア」を募集しています。

お問い合わせは下記にあります「連絡先」までお願いします。



プールの前で自己紹介中の地域の方

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp